

入札監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日：平成25年7月29日)

開催日及び場所		平成25年6月28日(金曜日)4階会議室		
委員		高木 聡廣 (弁護士) 星野 誠之 (公認会計士) 村山 好行 (NHK熊本放送局副局長)		
審議対象期間		平成25年1月1日～平成25年3月31日		
審議対象案件		187件うち、1者応札案件25件 契約の相手方が公益社団法人等の案件2件		
抽出案件		20件うち、1者応札案件7件 (抽出率11%) (抽出率28%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件2件 (抽出率100%)		
抽出 案件 内 訳	工事	一般競争	5件うち、1者応札案件2件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件	
		指名競争	公募型指名競争	0件
			工事希望型競争	0件
			その他の指名競争	0件
		随意契約	0件	
	業務	一般競争	5件うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件2件	
		指名競争	公募型競争	0件
			簡易公募型競争	0件
			その他の指名競争	0件
		随意契約	公募型プロポーザル	0件
			簡易公募型プロポーザル	0件
			標準型プロポーザル	0件
			その他の随意契約	0件
	物品・ 役務 等	一般競争	9件うち、1者応札案件5件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件	
		指名競争	0件	
		随意契約(企画競争・公募)	0件	
随意契約(その他)		1件うち、1者応札案件1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件		
(特記事項)				

各委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回答等
	<p>① 指名停止期間について、死亡災害があったのに停止期間が2週間と短いのはなぜか。</p> <p>② 総合評価落札方式の技術評価はその都度するのか。</p> <p>③ 林道災害復旧工事が入札参加者が少ないのは、工事が年度末に集中したためか。</p> <p>④ 最低価格はどのように決定するのか。</p> <p>⑤ 建設コンサルタント等業務（林道調査設計）の予定価格の違いは何か。</p> <p>⑥ 入札筆記書の業者区分に「紙業者」と記入されているがそれは何か。</p> <p>⑦ 入札筆記書に「辞退」とあるが、どのようなことか。</p> <p>⑧ 企画競争入札で、販売経費手数料の6%というのは固定なのか。何社の申請があったのか。</p> <p>⑨ 森林整備（保育間伐）の活用型というのはどのようなものか。</p> <p>⑩ 「保護林保全緊急対策事業請負」の緊急対策というのは何か。</p> <p>⑪ 西表島辺りからの応札があるのか。</p>	<p>① 労働基準監督署の調査の結果、事業主の安全管理体制に重大な過失はなかったという判断である。</p> <p>② 入札前に出された資格申請・技術提案書等の提出資料の評価審査をその都度実施する。</p> <p>③ 年度末に、工事の発注が集中したこともあるが、各社の他の事情もあると考えられる。</p> <p>④ 予定価格が一千万円以上のものについては調査基準価格がある。概ね予定価格の75～80%で決めており、その都度物件毎に変わる。</p> <p>⑤ 林道の発注本数や延長等により差が出る。</p> <p>⑥ 基本は電子入札であるが、代表者の変更等で電子入札用のカードの取得が間に合わず紙での入札になったため「紙業者」と表記されている。</p> <p>⑦ 参加資格申請後に入札を辞退したということである。</p> <p>⑧ 通常6%であるが、仮に6%以上の提示があった場合、販売委託業務審査表の点数が低くなる。19社であった。</p> <p>⑨ 保育間伐を行った材を市場に出材し有効に活用するという位置づけである。</p> <p>⑩ 林野庁では貴重な森林生態系の保護・保全を図るための事業を行っているところであり、本件はリュウキュウマツの遺伝子資源を保存する保護林において侵入広葉樹を除去する業務内容である。</p> <p>⑪ 西表島には一業者しかなく、応札したのは落札した西表島の業者一者だけであった</p>

	<p>⑫ 「建設機械借上」というのは、機械を借りるという契約か。</p> <p>⑬ なぜ工事の委託ではなく、機械を借りるという契約なのか。</p> <p>⑭ 「桜島上流山腹荒廃地における生物多様性に配慮した効率的な緑化工検討事業」の成果物としてはどのようなものか。</p> <p>⑮ 地下足袋一足あたりの金額が5,500円と高価であるが。</p> <p>⑯ 市場価格を十分調査し、研究した上で価格設定をすべきではないか。</p>	<p>⑫ オペレーター込みで借上げ、業務を行う単価契約である。</p> <p>⑬ 大雨等で林道の路面流出等があった場合、林道の整備をするものである。</p> <p>⑭ 現地は桜島の北側で山頂付近であり、荒廃・ガス等で非常に条件が厳しく、環境省との調整もあり、生物多様性に配慮したより良い工法はないかベース的な検討をした報告書を納めてもらう。ただ、これ一回で終わるものではなく、逐次状況が変化するので、現時点で最も有利・有効なものは何かという方向性を見いだすものだと思う。頂きたい。</p> <p>⑮ 安全地下足袋といって、急傾斜地等での足元の安全を確保するために、滑りにくい加工をしているもので一般品より価格が高くなっている。</p> <p>⑯ 入札公告時の物件内訳書で現在使用中の品番・規格を示しているが、同等品の提案についても検討することとしている。</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容 [これらに対し部局長が講じた措置]</p>	<p>なし</p>	<p>なし</p>

事務局：九州森林管理局企画調整課